

樹心寮実習の手引き

1.事前準備

忘れものがないよう、準備をお願いします。

- 【提出書類】 実習生個人調査票 細菌調査 実習生評価表 契約書
- 【持ち物】 実習日誌 出勤簿 印鑑 名札
エプロン2～3着 軍手 帽子 お茶碗
マグカップ 箸 筆記用具 運動靴
室内用スリッパ 動きやすい服装 傘
- 【宿泊用】 洗濯用洗剤 シャンプーリンス 洗顔
ボディーソープ バスタオル着替え 目覚まし時計
- 【その他】 健康保険証 常備薬 食事 茶封筒2枚
自己紹介カード
- 【必要経費】 ①食事代 朝食250円 昼食350円 夕食400円
②宿舍利用料 1日500円（電気代、水道代、ガス台含む）
例：10泊11日の実習の場合、部屋の確保の為11日分の利用料
③実習資料代 1,000円（児童福祉ぎふ 県下共通）

2.注意事項

(1)実習に臨む姿勢

①大人としての自覚と配慮

実習期間中は「一人の大人」という自覚を持ちましょう。子どもたちは、身近な大人をモデル、手本とします。自身の言葉遣い、身なり立ち振る舞いなどを意識しましょう。また、思春期の子どもたちが生活している事を考慮した服装をお願いします。

食事の場面においては、日頃から、肘をついていないか、足を組んでいないかなど、姿勢やマナーを身につける事が出来る様に、子どもたちに伝えています。実習生の皆さんも「食事場面も支援であること」を意識して生活の中に入っていきけるようにしましょう。また会話に関しては、学生生活においての友人、家族とのやり取りはでない為、日頃の言葉遣いとは区別が出来るとういです。

②気持ちの良い挨拶をしよう

担当ホームの子ども、職員だけでなく、他ホームの子ども、職員にも挨拶をしましょう。また、学校の先生やお客様が来寮される事もあります。外部の方からは、実習生であっても樹心寮の関係者としてみられますので、気持ちのよい挨拶が出来るように心がけましょう。

③疑問、質問、困った事は聞きましょう

せっかくの実習です。意味あるものにして頂きたいと思います。

子どもの表出するものや、行動の意味、職員の声掛け一つ一つに意味があります。疑問に思ったら質問して下さい。

④子どもたちのプライベートへの配慮

実習を通して、子どもたちと一緒に生活をして頂きます。幼児さんたちは、「一緒に遊んでくれるお兄さん、お姉さん」という感覚でいます。しかし、思春期の子どもたちにとっては、「自分の生活、プライベートを見られている」という感覚になります。自分たちの学びの為に、子どもたちの生活を提供してもらっているという認識を持って頂き、実習に臨んで下さい。

(2)日常支援

①安全面の確保

目の前の事に集中しすぎると、ついつい周りが見えなくなってしまう事もあります。トラブルを大きくするのは、介入の遅れも一つの要因です。場合によっては、子どもが怪我や、事故に繋がる危険性もあります。家事をしながらでも、状況把握を行うようにして下さい。

②日常支援のもつ意味

子どもの支援においてまず大切な事は、安心安全な日常生活（当たり前の生活）が保障される事です。子どもたちは親との分離や被害を受け傷つき、施設に入ってきます。心の回復をしていく中で、三食きちんと食事が取れ、安心安全な環境を整える事が土台となります。家事をやって頂く事がメインとなりますが、「雑務」ではありません。子どもたちは、自分たちの生活そのものを支えてくれる人の姿を見て、その人に安心感を持ち、関係を取ろうとしていきます。意味合いを理解して、丁寧に行ってください。

③子どもとの関わりについて

担当ホームの子ども、職員の名前をなるべく早く覚えましょう

実習を行うにあたって、生活空間や時間を共有する子どもたちの名前を覚える事は大切な事です。名前を覚え声をかける事で「名前覚えてくれた、関心を持ってきている」と感じます。

④子どもの名前には「くん、ちゃん、さん」をつけましょう

呼び捨てにした方が親近感を感じる、距離が縮まる、という考え方もありますが、施設では異なります。入所している子どもたちはお預かりしているお子さんであり、呼び捨てにしても良い関係性ではありません。また、集団においてパワーを持っている人から、パワーのないものを呼び捨てにし、上下関係を作りやすい構造になります。大人が子どもを呼び捨てにしていると、子ども間でも影響します。必ず「くん、ちゃん、さん」をつけて子どもへの声掛けをして下さい。

⑤子どもの居室への立ち入り

子どもにとって、居室はプライベート空間です。「個室」は自分の時間や空間を大切にするという意味合いがあります。子どもに「お部屋でお話ししよう」と言われても、個人で判断せず、職員に相談して下さい。

⑥入浴、排泄、着替えの援助

入浴、排泄、着替えは子どもたちのプライバシーに関わります。排泄の失敗などや、緊急時に対応しなければならない状況においても職員への確認をして下さい。

⑦子ども自身が頑張った事や良かった事に対してはきちんと褒めましょう

「出来て当然」と感じる事があっても、「すごいね」「頑張ったね」と褒めてあげてください。子ども達は自己肯定感が低く、自分に自信を持つことが出来ません。たくさん褒めて、子どもの自信に繋げていく事がとても大切です。

⑧子どもの言動に対して、良くない事は「良くない」と伝えましょう

子どもたちの中には善悪の判断がついていない子もいれば、良くない事と分かってもコントロールが難しい子どももいます。「実習生だから」「嫌われるのが嫌だ」と見て見ぬふりをする事は、よくありません。言動が改善されなかったとしても、一人の大人として子どもに伝える事が大切です。

⑨子どもからの家族の話

子どもから、家族の話があった場合には意見をするのではなく、「そういう事があったんだね」と傾聴する姿勢で対応して下さい。子どもたちの親に対する思いは複雑であり、慎重に取り扱わなければなりません。話を聞いた場合には、子ども状態を把握したいので、職員に報告するようにして下さい。

⑩「誰にも言わないでね」という事も必ず報告を

「実習生のお姉さんだけに話すね、誰にも言わないでね」と言われても必ず報告をして下さい。事実かどうかは別として、すぐに対応に入らなければならない事案もあります。ホーム職員、他ホームの職員でも構いません。判断に迷うような事であっても報告をして下さい。

⑪子どもとの距離感

愛着での課題から人との距離が適切に取れない子どももいます。その為、初めての人でもくっついたり、抱っこをせがむ事もあります。私たちは日々の関わりを通して、安定した愛着が築いていける様に支援しています。

「実習生だから抱っこはできないの、ごめんね」などと柔らかい表現で子どもとの距離感を取れるようにして下さい。幼児さんとの関わりにおいては、安全面の確保の為、手をつなぐなど関わり方をして頂けると良いです。

*子どもが実習生の顔と名前を覚えた頃（目安として3～4日目）に、子どもから抱っこやおんぶを求められた場合には対応していただいても大丈夫です。

(3)携帯電話に関して

①携帯電話の持ち込みは原則禁止

宿舎に置いて、担当ホームの勤務に入して下さい。子どもたちに「携帯、写真を見せて欲しい」と言われても、ホームに持ち込まないようにして下さい。万が一、子どもから連絡先を聞かれた場合にはお断りをして下さい。また、子どもから連絡先などを聞かれた場合には、必ず職員に報告をして下さい。

②携帯電話での写真撮影

子どもの写真は絶対に撮らないで下さい。トラブルに発展する事があります。

③子どもの携帯電話の所持

高校生であっても、全員が携帯電話を所持しているわけではありません。

樹心寮では、携帯電話所持にあたっての約束事があります。その為、持っている子、持っていない子がいる事を知っておいて下さい。

④SNS への発信

子どもの写真や、子どもの名前、樹心寮の情報などを個人がやっている SNS に載せないようにして下さい。一度ネット上に出してしまうと、情報は拡散しトラブルに繋がります。親御さんが子どもを施設に入所させている事を隠していたり、諸事情により、身柄を隠さなければならない子どももいます。施設で守れなくなるリスクが出てくる場合もありますので、管理の徹底をお願いします。

(4)その他

①実習日誌に関して

実習の書き方は、各大学の指導に従ってください。誤字脱字のないように書くことを心がけましょう。修正する場合には、修正テープではなく、二重線を引き、訂正印で対応しましょう。子どものエピソードを書く際には、実名ではなくイニシャルを使ってください。

②気づいたことがあれば教えてください

日々の支援の中で、職員と子どもの関わりの中で感じたことや、不思議に思った事は、中間反省の際などに、実習担当の職員に話をして下さい。第三者の意見も踏まえ、より良い支援が出来るようにしていきたいと思っています。

③実習期間中は、樹心寮の指示に従ってください

勤務時間外であっても、実習期間中は「実習生」という意識を持って行動して下さい。

④宿舎の過ごし方

整理整頓を心がけ定期的な清掃をしましょう。宿舎でのごみはこちらで処分します。綺麗に洗い、分別することを心がけてください。最終日にまとめたごみを管理棟まで持ってきて下さい。交流ホームは、寮の子どもや職員だけでなく、地域の方も利用します。

⑤体調管理には留意しましょう

慣れない環境下で、体調を崩しやすいかと思います。体調が優れない時には、無理をせずホーム職員もしくは、実習担当に相談して下さい。子どもとの関わる時間が長いため、万が一子どもにうつってしまった場合、施設は集団生活であり、感染の拡大が想定されます。対応方法については、職員で判断させていただきます。通院や、感染症であった場合には、実習を中断して頂く事もあるかと思いますが、ご了承ください。お休みされた欠席日数分は、大学と相談しますのでご安心下さい。

*夜間何かあった場合や、保護者の方からの緊急を要する場合の連絡先は、樹心寮管理棟に連絡をお願いします。

Tel: 0585-34-2070

改定 令和6年5月